



29 そこで、イスラエルはギブアの回りに伏兵を置いた。

30 三日目にイスラエル人は、ベニヤミン族のところへ攻め上り、先のようにギブアに対して陣ぞなえをした。

31 すると、ベニヤミン族は、この民を迎え撃つために出て来た。彼らは町からおびき出された。彼らは、一つはベテルに、他の一つはギブアに上る大路で、この前のようにこの民を打ち始め、イスラエル人約三十人を戦場で刺し殺した。

32 ベニヤミン族は、「彼らは最初のときのようにわれわれに打ち負かされる」と思った。イスラエル人は言った。「さあ、逃げよう。そして彼らを町から大路におびき出そう。」

33 イスラエル人はみな、その持ち場を立ち、バアル・タマルで陣ぞなえをした。一方、イスラエルの伏兵たちは、自分たちの持ち場、マアレ・ゲバからおどり出た。

34 こうして、全イスラエルの精鋭一万人がギブアに向かってやって来た。戦いは激しかった。ベニヤミン族は、わざわざ自分たちに迫っているのに気がつかなかった。

20:35 こうして、主がイスラエルによってベニヤミンを打ったので、イスラエル人は、その日、ベニヤミンのうち二万五千百人を殺した。これらの者はみな、剣を使う者であった。

36 ベニヤミン族は、自分たちが打ち負かされたのを見た。イスラエル人がベニヤミンの前から退却したのは、ギブアに対して伏せていた伏兵を信頼したからであった。

37 伏兵は急ぎギブアに突入した。伏兵はそ

の勢いに乗って、町中を剣の刃で打ちまくった。

38 イスラエル人と伏兵との間には、合図が決めてあって、町からのろしが上げられたら、

39 イスラエル人は引き返して戦うようになっていた。ベニヤミンは、約三十人のイスラエル人を打ち殺し始めた。「彼らは、きっと最初のときのようにわれわれに打ち負かされるに違いない」と思ったのである。40 そのころ、のろしが煙の柱となって町から上り始めた。ベニヤミンは、うしろを振り向いた。見よ。町全体から煙が天に上っていた。

41 そこへ、イスラエル人が引き返して来たので、ベニヤミン人は、わざわざ自分たちに迫っているのを見て、うろたえた。

42 それで、彼らはイスラエル人の前から荒野のほうへ向かったが、戦いは彼らに追い迫り、町々から出て来た者も合流して、彼らを殺した。

43 イスラエル人はベニヤミンを包囲して追いつめ、ヌアから東のほうギブアの向こうまで踏みこじった。

44 こうして、一万八千人のベニヤミンが倒れた。これらの者はみな、力ある者たちであった。

45 また残りの者は荒野のほうに向かってリモンの岩に逃げたが、イスラエル人は、大路でそのうちの五千人を打ち取り、なお残りをギデアムまで追跡して、そのうちの二千人を打ち殺した。

46 こうして、その日ベニヤミンの中で倒れた者はみなで二万五千人、剣を使う力ある者たちであった。

47 それでも、六百人の者は荒野のほうに向かってリモンの岩に逃げ、四か月間、リモンの岩にいた。

48 イスラエル人は、ベニヤミン族のところへ引き返し、無傷のままだった町をはじめ、家畜、見つかったものすべてを剣の刃で打ち、また見つかったすべての町々に火を放った。

ベニヤミン族は始めが勝利だったので、苦戦にあっても勝てると思ひ込み、それで徹底的な敗北となってしまいました。この戦いの起り方は、ベニヤミン族のギブアの人々による反人道的な罪からでしたが、彼らはそれを反省することもなかったのです。

神なき戦いの果ては、神なき敗北の悲惨です。彼らは自分たちを省みることもなく、また神に祈り悔い改めることもなく、徹底的に打ちのめされました。

どんな状況に陥れられても、そこに至るまでにはプロセスがあります。その状況に応じて主のみこころを聞く必要があり、示されるなら悔い改め、または方向転換しなければなりません。「もう後戻りはできない!」などと人間的な思いで、がむしやりに進んでも良いことはありません。静まって、主にひれ伏して、主のみこころを聞きましょう。

①神のみこころは? (信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど)

②どんな思いになりましたか? (感情や願いなど)

③生き方にどう適用しますか? (あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか?)

④この世にあって何を実践しますか?

